



創立10周年記念 シンポジウム ~AIIT、未来への挑戦~

首都東京の産業をリードする高度専門職人材育成を目的に設置した産業技術大学院大学 (AIIT) は昨年12月5日、創立10周年を迎えた。これを記念して「AIIT、未来への挑戦 (チャレンジ)」と銘打ったシンポジウムを丸ビルホール (東京・千代田) で開催。第一線で活躍する

気鋭の起業家が、起業・創業に必要なポイントなどを語ったほか、IT (情報技術) 業界を牽引 (けんいん) する経営者による講演や著名小説家などとの鼎談 (ていだん)、さらにはAIIT産業技術研究科の修了生と学生の2人が「私が社長になった理由(わけ)」と題して起業報告をした。

2日目
2015年12月16日

IT 業界を牽引する経営者や著名小説家が
産業界、さらには AIIT の未来を語る!

1日目
2015年11月27日

気鋭の起業家がベンチャー企業を
成功へと導く秘訣を語る!

この大学院大学は、働く人などがスキルアップを目的として、高度な専門技術を身につけることができる大学です。実際に大学に行くのではなく、学生が真摯に授業に向かう姿勢が求められます。話は変わりますが、私は今、バスケットボールの改革に取り組んでいます。既存のルールを、狭い世界、低いレベルで考えた結果、10年もたつてしまいました。そしてリーグ統一などの問題



PBLで人材育成

を解決しなければ国際試合へ出場できないという制裁を科せられたわけです。こうした問題を解決するために本来は何をすべきか、それには大きなビジョンを持つ、そこに至る道を考えていく必要があります。たとえ常識に反するとしても100%の度発想を委ねるというコピーライティングの転回により解決する必要があるわけです。この大学では、徹底的に討論し課題解決策を見いだすPBLという授業があり、アジア各国とも連携しながら多くの課題に取り組んでいきます。こうした活動を通じて、明確な目標を掲げ、前例にとらわれず発想し解決できる人材を今後育成していきます。

IBMコーポレーションは1911年の創立から104年。創立当初のビジネスは、秤(はかり)、タイプライター、統計機だった。その後、インベションによりその後、絶え間なくビジネスモデルを変えてきた。20年前はビジネスのほとんどがハードウェアだった。が、直近ではハードウェアの比率は全ビジネスの1桁で、サービスとソフトウェアがほとんどだ。インベションの原動力



イノベーションの原動力

には、ダイバーシティ(多様性)への積極的な取り組みがある。マインドセットを変えていくことが、多様な壁を乗り越え、心理的な壁を排除し、多様性のある人たちが一緒に新しい価値を創ることが必要だ。また、新しい情報を積極的に活用すること、インベションによる「あなまきチャレンジ」(行動特性)を磨いていく必要がある。IBMでは、エグゼクティブが身につけるべきコンピテンシーとして、「あなまきチャレンジ」精神、「お客様の成功を支えるための協力」、「グローバルな連携」、「体系的な思考に基づく行動」、「相互信頼の構築」、「専門能力を駆使した影響力」、「絶え間ない変革」、「相手にインパクトを与えるコミュニケーション」(他の社員が成功を支援)の9つを掲げている。

社会に変革をもたらす

高度専門職人材を育成

産業技術大学院大学(AIIT)は、社会にインベションをもたらす、産業を活性化させるスーパープロフェッショナルを育成する公立の専門職大学院です。従来の大学教育が知識とスキルの修得を主目的としているのに対し、AIITはアーキテクト人材に必要な業務遂行能力を鍛えることに重点を置いています。そのため2年次はプロシエクティブのキャリアキュラムを実施していきます。



業務遂行能力鍛える

な特徴です。学生は数人ずつのグループに分かれ、それぞれのプロジェクトで、異分野コミュニケーション能力やリーダーシップ、フットワークなど、チーム力を最大限に発揮する上で不可欠な業務遂行能力を身につけていきます。単位バンク制度や全講義のビデオ化など、忙しい社会人学生の便宜を図る先進的な学習環境を整備しています。

私がミドリムシ(学名:ユークレナ)のビジネスを始めたのは、大学1年の夏に訪れたバンクラデシユで。その人が飢えに苦しんでいるのを見て、実際に食べてみると、おなかをすかせている子どもも1人もいない。問題は飢餓ではなく、炭水化物以外の栄養不足とわかった。少量でも栄養満点の食材を探し、大学3年のときにミドリムシの存在を知った。

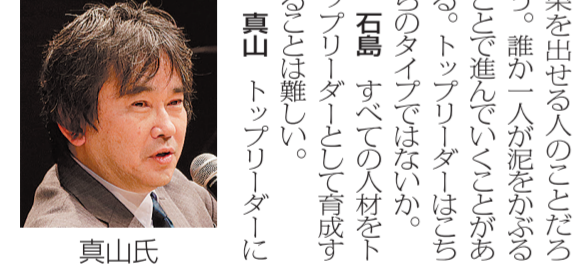
試行を繰り返せば必ず成功する

倒産かと思ったとき、大手商社の食品担当が興味を示し、08年5月に採用が決まった。その商社には誰もやっていないミドリムシをリスクと考えるのではなく、チャンスと捉えてくれた。その後多くの企業の支援を得て事業が拡大、東京大学発のベンチャーとして初めて東証1部上場も果たした。ベンチャーが成功する条件は「一番」にこだわることだ。そのために最も必要なのは、適切な科学技術と試行回数だ。成功率が1%でも、4500回繰り返せば99%成功するという。私は科学技術と試行回数の掛け算で、誰でもインベションを起すことができることを確信している。



個性尊重する人事制度採用

1997年に入社3年目の会社を辞め、松山市の家賃7万円のマンションで会社を設立、3人でウェアを制作したシンブルで使いやすいういグルーブウェアの販売を始めた。3年後には東証マザーズに上場するなど、滑り出しは順調だったといえる。

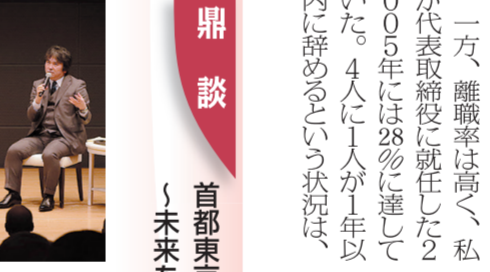


想像を超える結果を出す 価値観の多様化が定着 大学は感性を磨く場所

真山 仁氏、早川 ゆき氏、石島 辰太郎氏

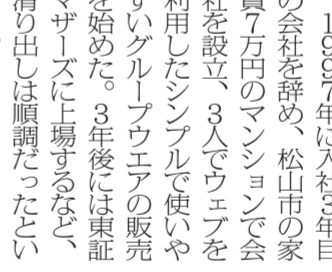
真山 一生懸命やるのは当然の結果を出して初めてプロの入り口に着く。そこにスーパーがつくというところは、想像もしなかった結果を出せる人のことだ。誰か一人が泥をかかざることで進んでいくことがある。トップリーダーはこれらのタイプではないか。

石島 プロフェッショナルを超える人材という意味でスーパープロフェッショナルという言葉を使っている。真山 想像を超える結果を出すには、感性を磨く必要がある。早川 想像を超える結果を出すには、感性を磨く必要がある。石島 カルチャーの部分を手動で動かすための感性を磨くことが大学ではないか。



鼎談 首都東京の専門職大学院としての役割

未来を切り開くスーパープロフェッショナルの育成



1997年に入社3年目の会社を辞め、松山市の家賃7万円のマンションで会社を設立、3人でウェアを制作したシンブルで使いやすいういグルーブウェアの販売を始めた。3年後には東証マザーズに上場するなど、滑り出しは順調だったといえる。



個性尊重する人事制度採用

会社として非常に効率が悪い。辞める人を引き留めるため「給料を上げる」「好きな仕事をさせていこう」と説得してみたが、全く効果はなかった。

広告

企画・制作=日本経済新聞社クロスメディア営業局

入試

2/13(土)、3/5(土)

大学院説明会の開催も予定しています。日程は以下の通り

2/19(金)、2/24(水) ※3月中旬に特別入試も予定しています。詳しくはHPをご覧ください。

PBLプロジェクト成果発表会

2/11(木・祝) 9:30~17:30

場所:東京国際フォーラムホールB5

2016 AIIT PBL プロジェクト成果発表会(入場無料・事前申込不要・入退場自由) 本学学生がプロジェクトでの学修を通して獲得した成果を発表する場です。

発表テーマ(一部)

- 「公共分野におけるプライバシーリスク評価手法の開発」
- 「訪問看護ステーション支援事業の分析とBPR提案」
- 「偏光イメージングのための多角的撮像システムの開発と応用研究」 他

産業技術大学院大学

ADVANCED INSTITUTE OF INDUSTRIAL TECHNOLOGY

お問い合わせ先

管理部管理課 (大内・太田)
〒140-0011 東京都品川区東大井1-10-40
Tel : 03-3472-7831 Fax : 03-3472-2790
E-mail : info@aiit.ac.jp

<http://aiit.ac.jp/>

産技大 検索